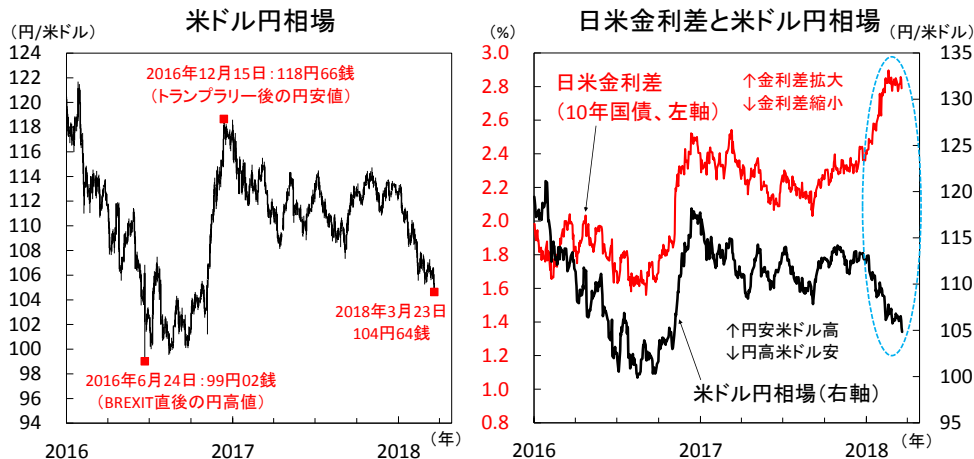


円相場は今年の高値、日経平均株価は安値を更新、円高・株安は長期化するのか？

【図1】リスク回避の円高が進むなか、相関薄れる日米金利差と円相場



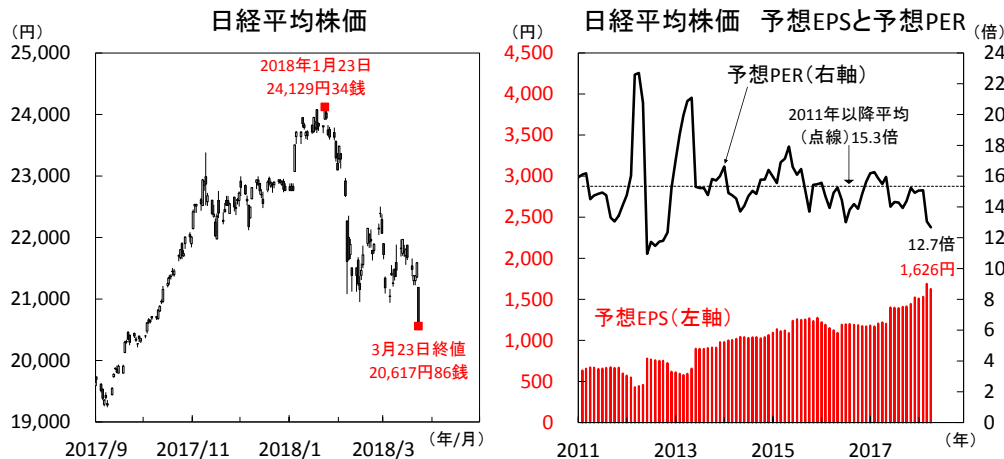
注) 左図：赤字はザラバベースの円高安値。直近値は2018年3月23日15時時点。
右図：直近値は2018年3月22日時点。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

23日朝、円相場は一時1米ドル=104円64銭を付けるなど、3月2日の105円25銭を超え、今年のザラバ高値を更新しました(図1左)。22日のトランプ政権による対中関税制裁強化を受けた世界的なリスク回避に伴う円高圧力が強まった印象です。

21日には、米FOMC(連邦公開市場委員会)が今後の利上げ加速の可能性を示唆、市場の反応(米株安・円高)を見る限り、米国景気は足元良好も、拙速な利上げが景気悪化を招くとの懸念を反映した動きともとれます。そのことは米景気良好→米金利上昇→日米金利差拡大→円安米ドル高、という従来の相関が崩れている様子からもうかがえます(図1右)。さらに今回の措置を含め、鮮明化する米政権の保護主義姿勢も市場のリスク回避を誘発しているとみえます。トランプ政権は1年目に経済面の公約である税制改革を成立、中間選挙年の2年目は通商面の公約である貿易赤字是正を重視している模様です。強い米ドルを繰り返し強調するも、本音は輸出強化につながる米ドル安を志向か？との疑念を拭いづらい環境といえます。

【図2】米国利上げや保護主義への過度の懸念和らげば、日本株反発も



注) 左図：2018年のザラバ高値と直近終値を表示。直近値は2018年3月23日時点。
右図：直近値は2018年3月(23日)時点。

出所) 日本経済新聞、Bloombergより当社経済調査室作成

リスク回避や米国保護主義を受けた円高圧力が残るなか、次の節目としては、2011年の円最高値:75円32銭と2015年の円安値:125円86銭の半値戻し100円、英国のEU(欧州連合)離脱決定直後の99円02銭(すべてザラバ)、直近の日米購買力平価(生産者物価ベース)97円など、やはり100円近辺が目安となりそうです。

森友問題に加え、22日の米株急落や円高進行を受け、日経平均株価は974円安と急落、今年之最安値を更新しました(図2左)。足元、米国利上げ加速や国際貿易戦争勃発が米国および世界的な景気悪化を招くリスクすら意識される環境ですが、米景気的良好さが再確認され、米中間の通商協議が一定程度前進するにつれ、過度の不安心理も和らぐと推察されます。元より国内企業想定レートが110円(大企業、日銀短観12月調査)、採算レート(上場企業、内閣府1月調査)が100円程度である以上、足元の円相場は増益期待すら失われる水準ではないため、国内株も割安感から反発する局面へ移行すると考えます(図2右)。(瀧澤)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会